

## 第3回 阿賀野市市政モニター会議 議事要旨

### 1 会議の概要

日 時 平成30年12月20日(木) 午後7:00~8:00

場 所 阿賀野市役所 第1多目的ホール

出席者

【モニター】(敬称略)

百都 順也、佐藤 公明、坂詰 榮子、遠藤 沙弥、杉山 啓子、高澤 健一、  
齋藤 和枝、田村 千恵、榎本 英樹

【市】

市長政策・市民協働課：課長 荻部 一雄、秘書広報広聴係長 遠海 美穂子、  
秘書広報広聴係主任 小林 政仁

### 2 議事概要

テーマ「情報収集のための手段」について

### 3 主な意見(○：モニター、●：市)

- 今回3回目ということで、今年度はこれで最後となる。来年度、改めて募集したいと考えている。2回のモニター会議を振り返ると、10月に第1回を開かせていただき、フリートークということで、各自思いを出していただいた。2回目は先月、地域公共交通をテーマとして、お話をいただいた。今回初めて遠藤さんに出席いただいたので、思いを聞かせていただきたい。その前に、簡単に自己紹介をお願いしたい。

(遠藤さん自己紹介)

- 2回の会議の中で話し足りないことがあれば出していただきたい。なければ、一つ提案があり、それで進めてよいか。

(意見なし)

- どのようにして情報を得ているかということを伺いたい。市役所においては、市の情報や地域の取り組みを広報紙やホームページを通じて発信しているが、広報紙やホームページを見ているか。

- 広報紙は一応目を通してている。ホームページは年に1回見る程度。
- 広報紙は、1日号は子どもも見ているが、15日号は字ばかりなので家族も見ない。ばあさんは見るが、じいさんは自分の興味のある農漁などは見ているが、興味のないものは見ていない。ホームページは年に1回、何か探すのに見る程度。
- 届いたものは一応目を通す。1週間位はサイドボードの上に置き、時々見て1週間位経ってから新聞入れに入れる。ホームページは、たまにしか見ない。ホームページをよく見る仲間は、「阿賀野市のホームページは古い」「つまらない」と言っていた。他の地域から阿賀野市に来たいと思う人は、どんな感じか調べてから来ると思う。
- 家族の中では、母が一番目を通してている。市の中で結構活動しているので、募集の要項や催し物などを見ている。また、自分が載ったときや兄弟がスポーツで賞をとったとき、友だちが取材を受けたときなど、写真が載っていると家族で共有し目を通す。写真があると若い世代も見やすく、興味を持ちやすい。ホームページに関しては、私は使わないが、ごちゃごちゃしているイメージがある。発信したい情報がたくさんあり過ぎるのか、シンプルさに欠けるところがある。阿賀野市も高齢化が進んでいるので、高齢になると使いづらさがあると思う。私の場合、情報がほしいと思ったら市役所に電話する。インターネットでも紙媒体でも、何か情報としてシンプルにできるのであれば、それを見て市に問い合わせできると思う。
- 今回、成人式実行委員をやらせられ、紙面に出たことで、友達や親御さんなど会話が弾んだか。
- 私が知らない人でも、私のことを知っている人が多く、特に市とつながりがある人や市の職員、50代以上の人から声をかけられた。若い人からは何もなかった。家族で話題になったのは、写真写りについて。
- 友達同士では何かあったか。
- 市外の学校に通学しているため、市内で過ごさないこともあり、市内の友達とはあまり関わりがなかった。ただ、私が以前、習い事をしていたところに母が通っており、母の知り合いが広報紙を見て、私のことを母に話したというのはあった。
- おじいちゃん、おばあちゃんは、広報あがのは毎回よく目を通してている。店と住宅が分かれており、広報関係は店に置いてあるため、若手は店に顔を出したときに

見る程度。来客の際に話題になるのは、商売をしていていいことだと思う。ホームページは、今まであまり見なかったが、一昨年頃、子どもの大学受験が初めてだったので、奨学金などについて調べた。その後は、調べものや知りたいことがあるときに活用している。

- 広報は私も母も1日号、15日号とも必ず目は通している。ホームページはたまに見る程度で、急ぎの場合は市役所に直接来る。
- 広報は毎月楽しみにしていて、イベント後の写真や夏のプールの申し込みなど、情報を得るのに使っている。結構見やすいと思う。ホームページは、以前、友達が新潟に来るときに温泉などを調べるため開いた程度で、今はあまり見ていない。
- 広報は楽しみにしている。15日のお知らせ版はさっと見る程度。以前、仕事を探しているときに、広報あがのやあがの新報に、工業団地への進出企業情報が出ていて、企業に電話をした縁で今の会社に勤めている。ホームページは、会社で県外から企業訪問に来る人に市内の情報などを聞かれるので、毎朝チェックしている。あまり更新されていないので、写真だけでも更新してもらいたい。広報に会社を取り上げられたときは、本社に広報やコピーを送っている。
- 広報は1日号、15日号とも見ていて、コンサートなどのイベント情報を見つけると参加している。ホームページは、特に目的はないが結構頻繁に幅広く見ている。
- 以前、アンケートをとった際、高齢者は大勢広報を見ていて、若い世代はあまり見ないという結果が出た。観光や旅行、イベント、飲食店などの情報は、どのように得ているか。スマホ、人から聞く、SNS、雑誌、広告などいろいろあるが、例えば旅行に行きたいときの最初の取り掛かりは何か。
- 先日、佐渡旅行に行ってきたが、旅行の前日に急に行くことを決め、すぐにスマホで検索し、フェリーやホテルを予約した。飲食店は知り合いに美味しい店を紹介していただいた。逆に、最近、知人のラーメン屋がオープンしたが、PRがあまりできていないので、阿賀野市でどうやってアピールしたらいいか、皆さんに知らせる方法はないかと思っている。
- 娘の中学校の部活動で遠征があった際、宿泊先など全部手配し、保護者として引率してきた。パソコンやスマホで調べたが、ビジネスホテルのため夕食がなかったので、飲食店はランキングを見て選んだ。団体で部屋数も多かったなので、詳細については直接電話で交渉した。口コミがネット上に載っているので、調べる時はそう

いったものも見るが、わからないときは直接聞く。その際の対応で、相手の印象が  
いいと、安心できる。

● 雑誌や広告はあまり見ないか。

○ タウン誌「こまち」を毎月買っていて、子どもと妻は、それを見て出かけたりし  
ている。阿賀野市が「こまち」などに載ると客が来るという話は聞く。特にテレビ  
に出たりすると、客層が全然違う、地元でない人が来るなど飲食店への影響は大き  
いようだ。村杉温泉などテレビに出ると、人の流れが違う。全国放送になればまた  
違うと思う。情報誌を見て出かけていくこともある。

○ 出かけたり食事に行ったりはあまりしないが、スマホではいろいろなことを調べ  
るし、出かけた時はスマホで調べようと思う。知らないことは何でも調べられるの  
で、便利で使い勝手がいい。

○ 例えば、自分がラーメンを食べたいといった何か明確な目的があるが、どこに行  
けばいいかわからないときはスマホで調べる。しかし、何が食べたいかわからな  
いが、その辺にいい店はないかというときは、その辺を知っている人に聞いたり  
する。何か食べたいがよくわからないときはSNSを使う。今、インスタグラムと  
いう写真のアプリがあり、投稿する写真に位置情報を付けられるので、キーワー  
ドを登録し、ハッシュタグや位置情報だけで検索できる。先日、横浜に行ったときも、  
飲食店を探す際にインスタグラムで検索して、写真を見て決めた。最近、言葉で「イ  
ンスタ映え」というのがはやっているので、写真で選ぶというのは大きい。「こま  
ち」はラーメン特集を時々やっているの、ラーメンを食べに行くときはそれを見  
る。旅行に行くことになれば、目的の雑誌を買う。

● 地元の人に聞くことはあるか。

○ 地元の人自体に聞くことはないが、全国にいる知人に聞いたりする。最近、全  
国版のテレビに阿賀野市が出ることがあるので、そういうときは見る。テレビの影  
響は大きい。たまたま自分が行く地方や地域がテレビに出ていたら、その情報を元  
に雑誌やスマホ、SNSなどいくつか活用して調べる。

○ 昔は、家族旅行でも会社の旅行でも友達同士の旅行でも、行きたいところがあれ  
ば、ずっと「るるぶ」を買って調べていたが、今はスマホで全部それができる。お  
いしいものが食べたい、店を知りたいというときはスマホで調べ、その店を知っ  
ていそうな友達に聞き、情報を確認してから行くようにしている。出かけた際に困っ

たことがあった場合は、スマホでキーワードを打てば全部出てくるので、そのとおりに動く。

- 「るるぶ」は、開くとききれいな写真などが大きく出ているが、スマホは画面が小さい。違和感はないか。
- 最初はあった。すごく見つらかったし、本を開く方が早いのではないかと。やはり慣れ。今は、あまり違和感がない。本も昔ほど買わなくなった。昔は調べたいものがあれば本屋や古本屋に行っていたが、今は全部携帯やパソコンの中に入っている。
- 毎年何人かで旅行に行くが、調べるときはスマホ。交通関係もすべてパソコンで調べてホテルだけ予約し、食事はそのとき調べて探す。以前、スマホで撮った写真をグーグルマップに掲載したころ、何日か経ってから「おめでとうございます。閲覧数が新記録になりました」という連絡が来た。結構見られていると思った。例えば、瓢湖の写真を撮ってグーグルマップに貼りつけ、投稿する。瓢湖に行きたい人がグーグルマップ上で検索すると、その写真が見られるという感じになっているようだ。
- 雑誌は購入するか。
- たまに「るるぶ」は買うが、やはりネットで見ることが多い。
- 以前は、旅行に行くときは「るるぶ」を買っていたが、今はインターネット、タブレットを見る。タブレットはスマホより大きくて見やすいので、全部それで調べて予約もする。ラインのタイムラインで、友だちが掲載した情報を見て、子どもと一緒に行くこともある。宣伝もそういうところやフェイスブックでするといいのではないか。おいしいものが載っていれば、それを見て行く人もいる。
- 雑誌はあまり買わないか。
- 最近はあまり買わなくなった。美容院に行ったときに、「こまち」を見て阿賀野市の情報を得ることもある。
- 旅行に行くことになったら、会社の人や友だちなど周りの人に聞き、薦めてくれたところに決めることが多く、その後の予約などはスマホですることが多い。雑誌はほとんど買ったことがなく、見ることもあまりない。

- 仕事が入っている間は、休みを利用して、転勤した土地の名所を回る楽しみもあったが、リタイヤしてからは、年寄りと同居している関係であまり遠出はしない。自分からアクションを起こすのではなく周りから誘われて行く程度。今は、受け身的な状況である。
- 雑誌はあまり買わないか。
- 買わない。
- 今、皆さんから情報を得る手段についてお聞きしたが、情報発信の仕方など広報やホームページに当てはめると非常に参考になる。また、広報を皆さん見ていると聞き、意外だったが嬉しかった。
- 県外など遠出する場合はスマホで調べ、市の情報や制度についてはホームページをあまり見ないということだが、なぜ市の情報はスマホで調べないのか。例えば、広報紙で見るから、調べたところで載ってないからなど何かしら理由があると思う。明確な理由があれば教えていただきたい。
- 自分が必要だと思った制度などがあるときは、関心を持って広報を見ている。その方が早い。自分に関連するボランティア団体の活動や情報などがホームページに載っていたりすると、開くこともある。
- それで足りるということか。
- その情報で足りないときは市役所に電話する。
- 市内で生活していないので、用事がない。知りたいことがあれば、市のホームページよりも検索サーチで検索する。バイトをしているので確定申告をするが、その情報を家族に聞いたり、「確定申告は何日まで」といった垂れ幕で知ることもある。先ほど防災のページを見たが、何かあったらどこへ行けばいいというのは、わかっていたらよく、防災マップも各家庭に配られているので、それを利用している。
- 今、垂れ幕の話があったが、市内を車で走っているといろいろな情報がある。皆さんは車を運転しながら見るか。
- 観光地や温泉など、矢印が書いてあれば目に入る。

- 今、看板の話が出たが、阿賀野市内で目立つ看板はあるか。
- 村杉温泉。木でできているので目立つ。雰囲気も出ている。
- 至る所に瓢湖の看板などあるが、なかなか目に入ってこない。情報発信のため看板の工夫も必要である。他の市でいいものはあるか。

(意見なし)

- ほかに地域の情報などあるか。
- 若者の市外進出について、第1回の議事録に「阿賀野市にイオンみたいのがあるといい」というのがあったが、私は京ヶ瀬なので5分くらいで新潟市に入れるため、ベッドタウンとして

はすごくいいところだと思う。イオンも車で2、30分で行ける。ただ交通の便が気になる。京ヶ瀬であれば新潟交通があるので新潟まで一本で行けるが、笹神や安田の人はどうしているのかと思う。自分がそこに住んでいたら、車しかないだろうと。京ヶ瀬も電車に乗ろうと思っても、田んぼの真ん中にあるので、冬であれば親の送り迎えが必要であり、新発田－新津間が2時間に1本しかないなど、すごく不便を感じている。車を持っていれば住みやすいが、なければ住みづらい。笹神に祖父母の家があるが、バスも通っていないようで、高齢者は免許返納がしにくい。生活圏内は車を使わなければいけないとなると、高齢者の運転する能力が低下してしまったときに、家族がいなければ免許返納しづらいただろう。今、事故も増えてきているようだが、高齢者の運転というのも一因だと思う。今、学校で研究している。

- 公共交通については2回目でやったが、今、デマンドも試験的にやっており、調査中である。
- バスについて、地域のおばあちゃんに聞いたところ、「80歳になったから免許返納した」と言っていた。返納したら2年間の無料券をいただいたので、それであるがの市民病院まで行ってきたと。不便さについては、「診察終わって帰りのバスの時間までは待つが、自分勝手なことばかりも言っていない、通っているだけでもほんとありがたい」と感謝していた。多少の不便があっても、そういうふうにするのも大事だと思う。
- ほかに意見がなければ、1回目、2回目、3回目の皆さんの話を、報告書としてま

とめさせていただく。後ほど、文書協議をさせていただき、市長に報告書としてあげたいと思う。その中で、来年度予算に反映できるもの、できないものを精査したいと考えている。これでよろしいか。

(一同了承)

- これで進めていきたい。今年は、スタートが遅れ、10月第1回、11月第2回、12月第3回とモニター会議を開催した。今年はこれで終わり、来年また新たに募集したいと考えている。年3回を考えており、皆さんには、言い足りないことがあれば、また応募いただきたい。

**その他（議事要旨の確認、謝礼の振込について説明）（遠海係長）**

- 今、市でアンケートをとったあと、課によってはその内容を聞くために自宅に訪問する機会もあるようで、その際に、自分のことだけでなく、外に出た孫や嫁のことなど関係ないことも聞かれ、いい気分はしなかったという話を聞いた。そうなる、正直なアンケートがなくなり、回収率も悪くなると思う。
- 同居している家族のことであればいいが。それについては確認する。